

## 協会記事

### 神奈川県博物館協会総合防災計画活動報告

総合防災計画推進委員会 委員長 武田 周一郎

2025（令和7）年度は、総合防災計画の関係者へのヒアリングを行い、計画の運用面での工夫に向けた検討に着手した。また、川崎市市民ミュージアムのご協力を得て、川崎市麻生区に移転した同館で実習を伴う講習会を実施した。本年度の活動の概要は、本稿執筆時点で実施予定のものも含めて次のとおりである。

#### 総合防災計画関係者へのヒアリング

神奈川県博物館協会の総合防災計画は、2016（平成28）年に策定された。それから現在に至るまで、川崎市市民ミュージアムの被災をはじめとする様々な動向があり、総合防災計画を巡る状況は大きく変化している。そこで、10年にわたる取組を振り返るとともに運用面での工夫につなげるため、計画策定時や川崎市市民ミュージアム被災時の当協会関係者と、総合防災計画推進委員とで意見交換する機会を設けた。

川崎市市民ミュージアムの被災資料救援活動（以下、レスキュー）については、研修会や会報等を通じてその取組が共有されてきた。これらを通覧すると、発災からレスキュー着手に至る当協会事務局の動向に関する記録は、レスキュー参加者によるものと比べて少ない。この点に着目した西澤文勝副委員長（神奈川県立生命の星・地球博物館）が課題や質問事項等を整理したうえで、ヒアリングを実施した。ヒアリング参加者は望月一樹氏（会長）、丹治雄一氏（事務局次長）、竹内廣一氏（事務局員）、杉山誠氏（事務局員）、角田拓朗氏（神奈川県立歴史博物館）である。各氏ともに現在に至るレスキューに参加者や協会事務局として関与している。また、竹内氏と角田氏は2016年の計画策定に携わった。ヒアリングの概略は、次のとおりである。

まず、発災から総合対策本部の立ち上げ、レスキュー着手といった流れが、時系列に沿って詳細に把握できた。既に会報等を通じて周知の動向も

多いが、それ以外にも関係者が情報収集や関係機関との調整等に奔走していた様子が分かった。手探りのなかでレスキューを軌道に乗せた経緯を参照すれば、次なる災害に直面しても速やかに初動対応が取れるであろう。ただし、当時と現在とでは状況が異なる点もある。その点を踏まえ、総合防災計画に基づく災害発生時における相互救済の仕組みについて、現状に即してフローチャートのようなかたちでまとめておきたいと考えている。

次に初動対応にあたっては、被災館に関する情報を把握している個人の力が起点になっていた状況が分かった。つまり、平時から加盟館園同士がつながっている関係性が、有事における相互救済の仕組みに有益であったといえる。その経験を今後活かすためには、例えば、研修会で各館園のバックヤードを見学しあうといった工夫が有益かもしれない。もちろん、日常業務が山積するなか、職員個人が日頃から他館との関係を維持するのは容易ではない。そのような観点では、個人の力に頼らず組織として対処していくための制度設計が肝要である。実際、委員長と副委員長は、活動が属人的にならないように単年度での交代を基本として運用されてきた。このほかにも、ヒアリングで知り得た先人の経験や意図は多岐にわたり、参加者に感謝申し上げる。

大きな収穫があったと同時に取り組むべき課題も見えてきたが、現時点では総合防災計画や関連する要綱自体の見直しは必要ないと考えている。今年度は課題解決の具体的な試みには至らなかったが、平時の積み重ねの一つとして来年度につなげたい。

#### 川崎市市民ミュージアムでの講習会

川崎市市民ミュージアムは、2023（令和5）年に川崎市麻生区の新事務所へ移転した。近年における当協会からのレスキュー参加実績は、同年度には活動日数18日、のべ参加者数28人（9館園）、

2024（令和6）年度は活動日数22日、のべ参加者数24人（4館園）であった。加盟館園の皆様には継続的にご協力いただいている一方、参加者が固定化される傾向にある。かくいう筆者もレスキューには赴いておらず、参加を広く呼びかけるための工夫は喫緊の課題であった。

このような状況のもと、川崎市市民ミュージアムから水損紙資料の応急処置をテーマとした講習会についてご提案いただいた。そこで、講習会を2025年12月18日と2026（令和8）年1月30日に同じ内容で開催する運びとなった。第1回の参加者は10名、第2回は12名（いずれも（事務局含む）で、概要は次のとおりである。

まず、午前中は谷拓馬氏（川崎市市民ミュージアム学芸員）から講義1「川崎市市民ミュージアムにおける水損紙資料のレスキュー」として、被災からレスキュー開始までの経過やレスキューの流れをご紹介いただいた。次に、谷氏から講義2「水損紙資料におけるクリーニングの種類と方法」として、ドライクリーニング、浸漬洗浄、スプレー洗浄の概要と、このうち本講習会で実習する浸漬洗浄の流れをご説明いただいた。

続いて、午後は水損紙資料を用いた洗浄と乾燥の実践に取り組んだ。事前に洗浄の手順を紹介する動画が共有されていたこと、またスタッフがマンツーマンで手厚く対応してくださったことから、作業は安心して進められた。最後に質疑応答があり、作業の手順はスタッフの意見を取り入れながら創意工夫が図られている状況等が紹介された。講義と実習を通じて具体的な手順を体験できる講習会は、継続的な参加促進のために資するところが大きいと実感した。

折しも本年、川崎市市民ミュージアムでは「新たなミュージアムに関する基本計画」の策定、旧施設お別れイベントの開催、レスキューに関する書籍『水害と博物館』の刊行といった様々な動向があった。そのようななかで日々のレスキューに取り組みながら、講習会を準備してくださったス

タッフの皆様に敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

## 防災訓練

本年度の防災訓練は、2026年2月4日に実施予定である。台風を想定した遠隔の被害状況伝達訓練とし、主に次の2点を工夫した。

まず、被害状況の伝達手段として、従来の電子メールとファクシミリとともに、ウェブフォーム（Googleフォーム）を加えた。ウェブフォームは情報セキュリティの制約上、利用できない館園があり、かつ情報集約の具体的な手順についても検討を要する。しかし、伝達手段の工夫は従来も提起されてきた課題であり、今回の試行結果が今後の判断材料になればと考えている。

次に、今回の想定災害である平成26年台風18号の概要と特徴について西澤副委員長が詳しく整理したうえで、洪水浸水想定区域図等とあわせて事前に周知することとした。これらの情報を踏まえて、各館園の状況に応じて被害を想定してもらうとともに、事務局とブロック幹事館園で被害想定と被害連絡票の内容を検証するなどして、訓練の実効性を高めたい。

なお、本年7月30日にはカムチャツカ半島付近でマグニチュード8.8の地震が発生し、相模湾・三浦半島に津波警報が、東京湾内湾に津波注意報が発表された。これを受けて、推進委員間で連絡をとりながら、会長や事務局とともに事態の推移を注視した。ちょうど先述したヒアリング後にあたり、委員の関心が高い状況もあってこのような行動に結びついたところであったが、平時の準備がいかに必要であるかを痛感した。

翻って、平時の取組の重要性については、各年度の活動報告を通じて強調されてきた。その行き着くところは、収蔵庫の安全を担保することにほかならない。その大きな目標を意識しながら、有事に備える必要があると考えている。

## 令和6年度事業報告

### 1 会議

#### (1) 総会

日時 令和6年5月10日(金)13:30~14:40  
 場所 神奈川県立歴史博物館 講堂 (地階)  
 議題 ア 令和6年度役員の交替について  
 イ 令和5年度事業報告及び決算・監査報告について  
 ウ 令和6年度事業計画及び予算案について  
 エ その他  
 報告事項 ア 新規入会の館園について  
 イ 令和6年度川崎市市民ミュージアム被災資料救援活動について  
 ウ その他  
 その他  
 令和6年度神奈川県博物館協会表彰について

#### (2) 役員会

##### 第1回

日時 令和6年5月10日(金)10:00~12:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館 講堂 (地階)  
 協議事項 ア 令和6年度役員の交替について  
 イ 令和5年度事業報告及び決算・監査報告について  
 ウ 令和6年度事業計画及び予算案について  
 報告事項 ア 新規入会の館園について  
 イ 令和6年度川崎市市民ミュージアム被災資料救援活動について  
 ウ その他

##### 第2回

日時 令和6年11月1日(金)14:00~16:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館 講堂 (地階) 及び ZOOMミーティング  
 報告事項 ア 令和6年度事業実施状況について  
 イ 東海地区博物館連絡協議会事務局 令和7年度担当県にあたり  
 ウ その他  
 その他

##### 第3回

日時 令和7年2月28日(金)14:00~17:00  
 場所 横浜美術館 円形フォーラム  
 協議事項 ア 令和6年度決算見込みについて  
 イ 令和7年度事業計画及び予算(案)について  
 ウ 令和7年度神奈川県博物館協会表彰について  
 エ 令和7年度川崎市市民ミュージアム被災資料救援活動について  
 報告事項 ア 令和6年度事業実施状況について  
 イ その他  
 その他 横浜美術館リニューアルオープン記念展 「おかえり、ヨコハマ」 見学

#### (3) 合同部会

##### 第1回

日時 令和6年5月17日(金)15:00~17:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館応接室 (2階) 及び ZOOMミーティング  
 議題 ア 令和6年度部会幹事の交替について  
 イ 令和6年度事業の実施状況(計画)について  
 (ア) 普及事業について  
 ・「協会報第96号」について  
 ・協会WEBリニューアルについて  
 ・WEB学芸員の仕事

・WEBミュージアムマップ  
 ・「加盟館園職員名簿-2024年版」について  
 (イ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について  
 (ウ) 広報事業について  
 (エ) 研修事業について  
 ・令和6年度研修計画について

##### 第2回

日時 令和6年7月19日(金)15:00~17:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館 応接室 (2階) 及び ZOOMミーティング  
 議題 ア 令和6年度事業の実施状況 (計画) について  
 (ア) 普及事業について  
 ・「協会報第96号」について  
 ・協会WEBリニューアルについて  
 ・WEB学芸員の仕事  
 ・WEBミュージアムマップ  
 ・「加盟館園職員名簿-2024年版」について  
 (イ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について  
 (ウ) 広報事業について  
 (エ) 研修事業について  
 ・令和6年度研修計画について  
 イ その他

##### 第3回

日時 令和6年9月20日(金)15:00~17:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館 応接室 (2階) 及び ZOOMミーティング  
 議題 ア 令和6年度事業の実施状況 (計画) について  
 (ア) 普及事業について  
 ・「協会報第96号」について  
 ・協会WEBリニューアルについて  
 ・WEB学芸員の仕事  
 ・WEBミュージアムマップ  
 (イ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について  
 (ウ) 広報事業について  
 (エ) 研修事業について  
 ・令和6年度研修計画について  
 イ その他

##### 第4回

日時 令和6年11月15日(金)15:00~17:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館 応接室 (2階) 及び ZOOMミーティング  
 議題 ア 令和6年度事業の実施状況 (計画) について  
 (ア) 普及事業について  
 ・「協会報第96号」について  
 ・協会WEBリニューアルについて  
 ・WEB学芸員の仕事  
 ・WEBミュージアムマップ  
 (イ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について  
 (ウ) 研修事業について  
 ・令和6年度研修計画について  
 イ その他

##### 第5回

日時 令和7年1月23日(木)15:00~17:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館 応接室 (2階) 及び ZOOMミーティング  
 議題 ア 令和6年度事業の実施状況 (計画) について  
 (ア) 普及事業について  
 ・「協会報第96号」について  
 ・協会WEBリニューアルについて

- ・WEB学芸員の仕事
- ・WEBミュージアムマップ
- (イ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について
- (ウ) 研修事業について
  - ・令和6年度研修計画について
  - ・令和7年度研修計画 企画案について
- イ その他

第6回

- 日時 令和7年3月7日(金)15:00~17:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館 応接室(2階)及び  
 ZOOMミーティング
- 議題  
 ア 令和6年度事業の実施状況について  
 イ 令和7年度事業実施計画について  
 (ア) 普及事業について
  - ・「協会報第97号」について
  - ・「加盟館園職員名簿-2025年版」について
  - ・協会WEBリニューアルについて
    - ・WEBサイトリニューアル
    - ・WEB学芸員の仕事
    - ・WEBミュージアムマップ- (イ) 広報事業について
- (ウ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について
- (エ) 研修事業について
  - ・令和7年度研修計画について
- ウ その他

2 研修

(1) 部会主催研修会

第1回

- 日時 令和6年5月10日(金)15:00~17:30  
 場所 神奈川県立歴史博物館  
 内容 特別展「近代輸出漆器のダイナミズム  
 —金子船彦コレクションの世界—」解説と見学  
 神奈川県立歴史博物館学芸員 鈴木愛乃氏
- 講師 文化庁博物館支援調査官 中尾智行氏
- 担当部会 3部会合同  
 参加者 73名

第2回

- 日時 令和6年7月12日(金)13:00~16:20  
 場所 横浜開港資料館  
 内容 「デジタルアーカイブズの運用と課題」  
 講演と事例発表
- 講師 日本大学生物資源科学部教授 野村正弘氏  
 横浜開港資料館調査研究員 神谷大介氏  
 茅ヶ崎市博物館館長 須藤 格氏  
 小田原市立郷土文化館主事 吉野文彬氏

担当部会 人文科学部会  
 参加者 62名

第3回

- 日時 令和6年10月1日(火)13:00~17:00  
 場所 横浜みなと博物館  
 内容 「展示リニューアルを経て、より魅力ある展示の  
 実現に向けた「横浜みなと博物館」の試み」  
 講演と展示見学・解説
- 講師 横浜市港湾局みなと賑わい振興部 小國恒之氏  
 解説 横浜みなと博物館学芸員 三木 綾氏  
 ” 奥津憲聖氏

担当部会 機能研究部会  
 参加者 43名

第4回

- 日時 令和6年12月13日(金)13:00~17:00  
 場所 よこはま動物園 ブーラシア

- 内容 「周年事業のあれこれ〜動物園・水族館・  
 博物館の事例紹介〜」事例報告と見学
- 講師 よこはま動物園ブーラシア飼育展示係  
 有馬 一氏  
 新江ノ島水族館企画担当 北田 貢氏  
 神奈川県立生命の星・地球博物館学芸部長  
 佐藤武宏氏

担当部会 自然科学部会  
 参加者 45名

第5回

- 日時 令和7年2月8日(土)13:00~17:00  
 場所 横浜市歴史博物館 講堂  
 内容 「博物館と学校連携について〜博物館の  
 使い方〜」講演とシンポジウム(一般参加)
- 講師 横浜市歴史博物館副館長 刈田 均氏  
 小田原市郷土文化館学芸員 土屋健作氏  
 相模原市立博物館学芸員 秋山幸也氏  
 横須賀市自然・人文博物館学芸員 内船俊樹氏
- コメント 鎌倉学園中学・高等学校教諭 風間 洋氏  
 小田原市立早川小学校教諭 山田恵里氏

担当部会 3部会合同  
 参加者 85名(加盟館園51名 一般(学校関係中心)34名)

(2) 文部科学省等主催会議・研修会の紹介  
 文部科学省、文化庁等が主催する会議・研修会要項  
 を各館園に案内

3 普及事業

- (1) 神奈川県博物館協会会報96号  
 令和7年3月発行(700部)
- (2) 加盟館・園職員名簿  
 令和6年8月発行  
 (PDFデータにて加盟館園へ配信済)
- (3) リーフレット「ぐるりかながわミュージアムマップ」の  
 合同部会WEBミュージアムマップ委員会にて  
 リニューアル協会ウェブサイト(スマホ版対応)  
 公開に向けサイトデザイン開発中。

4 広報事業

現行の県博物館協会ウェブサイトでは、加盟館園の個別情  
 報の更新(新規入会館園情報等)、協会報96号のPDF掲  
 載、協会活動報告更新、X(旧Twitter)活用による情報発  
 信等を実施。

5 神奈川県博物館協会総合防災計画事業

- (1) 令和6年度防災訓練の実施(遠隔情報伝達訓練)
- 日時 令和6年11月12日(火) 10:00~13:00  
 場所 神奈川県立歴史博物館  
 内容 ①南海トラフ地震を想定した被害情報伝達訓練  
 (遠隔伝達訓練)  
 ②100館園中61館園参加。訓練後、ブロック幹事  
 館園担当者間にて意見交換実施。
- (2) 関連機関等との連携、情報交換等  
 ・令和6年度県・市町村文化財大規模災害対策検討分科会  
 に総合防災計画推進委員長が出席  
 第1回(令和6年10月11日(金))  
 第2回(令和7年2月6日(木))
- (3) 川崎市市民ミュージアム被災資料救援活動  
 令和6年度救援活動参加状況  
 活動日数22日、のべ参加者数24名(4館園)

- 6 70周年記念事業への取り組み状況について  
 ・協会WEBのリニューアルサイトのデザイン開発

- ・WEB「学芸員の仕事」のコンテンツ検討と公開準備
- ・WEBミュージアムマップのコンテンツと公開準備

7 表彰事業

(1) 神奈川県博物館協会表彰

功労者1名永年勤続者12名の被表彰者を令和6年5月10日の総会にて表彰。

功労者

・相模原市立博物館 佐々木春美 様

永年勤続者

・神奈川県立公文書館 上田良知 様

・新江ノ島水族館 志村真由子 様

” 保崎好美 様

” 水村由美 様

・横須賀市自然・人文博物館 内船俊樹 様

” 菊地勝広 様

” 萩原清司 様

・横浜市立野毛山動物園 五十嵐真由美様

・横浜美術館 大沢知二 様

” 木下貴博 様

” 中村尚明 様

” 八柳サエ 様

(2) 日本博物館協会顕彰

令和6年11月27日(水)第72回全国博物館大会にて下記のとおり表彰

(会場：まつもと市民芸術館 (長野県松本市))

・永年勤続者 4 名

・新江ノ島水族館 井上麻子 様

” 岩崎猛朗 様

・神奈川県立金沢文庫 瀬谷貴之 様

・神奈川県立近代美術館 三本松倫代 様

(3) 東海地区博物館連絡協議会表彰

該当者なし

8 東海地区博物館連絡協議会への参加

(1) 令和6年度東海地区博物館連絡協議会・(公財)日本博物館協会東海支部 理事会・総会・講演会・施設見学会 (山梨県開催)

日 時 令和6年8月2日(金) 【会 場】

12:30~13:20 理事会 山梨県立博物館生涯学習室

13:00~14:20 総 会 ”

14:30~16:00 講演会 ”

「貨幣の変遷と新紙幣に描かれた人物」

講師：亀井大輔氏((株)山梨中央銀行学芸員)

16:05~17:00 施設見学会 山梨県立博物館企画展示室

夏期企画展

『どうぶつ百景 江戸東京博物館コレクションより』

出席者

・神奈川県立歴史博物館長 望月一樹 (理事)

・新江ノ島水族館長 崎山直夫 (理事)

・相模原市立博物館主任 山本菜摘 (部会長)

・神奈川県立歴史博物館学芸部長 丹治雄一 (事務局)

(2) 東海地区博物館連絡協議会60周年記念事業の実施運用

・「東海5県ミュージアムおでかけガイド」の加盟館園

展示・イベント情報公開によるサイト運用

※「東海5県ミュージアムおでかけガイド」URL

: <https://toukai5kenpakukyo.com/news/>

または、東海5県ミュージアム で検索

9 日本博物館協会事業への協力

・第72回全国博物館大会への参加

ア 日 時 令和6年11月27日(水)~29日(金)

イ 開催場所 まつもと市民芸術館主ホール

(長野県松本市)

ウ テ ー マ 「文化観光と博物館~文化の魅力を伝えるために博物館ができること~」

エ 出席者 神奈川県立歴史博物館 望月一樹

(日本博物館協会参与)

## 令和6年度 収入支出決算書

総収入額 2,916,172円  
 総支出額 2,205,705円  
 差引残額 710,467円(翌年度繰越金)

## 収入の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	摘要
1 会費	2,229,000	2,229,000	0	会費収入
2 雑収入	15	1,010	995	預金利息
3 繰越金	686,162	686,162	0	5年度からの繰越
合計	2,915,177	2,916,172	0	

## 支出の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	支出済額 (B)	残額 (A-B)	摘要
1 事務局	496,000	347,640	148,360	
(1) 旅費	134,000	75,714	58,286	東海地区博物館連絡協議会理事会・総会、全国博物館大会 事務局旅費
(2) 通信費	257,000	194,813	62,187	刊行物送付 事務連絡ほか
(3) 印刷 消耗品費	105,000	77,113	27,887	封筒印刷代、事務用消耗
2 会議費	77,000	55,767	21,233	役員会、部会等、全国博物館大会
3 事業費	2,016,000	1,649,188	366,812	
(1) 研修費	211,000	58,872	152,128	講師謝礼 会場使用料ほか
(2) 普及費	1,710,000	1,495,440	214,560	神奈川県博物館協会会報第96号 加盟館園職員名簿(内製) かながわミュージアムマップ2024-2025(休刊) ホームページ維持・更新経費
(3) 表彰費	95,000	94,876	124	表彰状筆耕料・記念品代ほか
4 負担金	54,000	53,110	890	東海地区博物館連絡協議会 神奈川県自然保護協会 神奈川県観光協会
5 積立金	100,000	100,000	0	総合防災計画事業積立金
6 予備費	172,177	0	172,177	
合計	2,915,177	2,205,705	709,472	

令和6年度 神奈川県博物館協会総合防災計画積立金 収入支出決算書

総収入額 2,444,065円  
 総支出額 400,000円  
 差引残額 2,044,065円(翌年度繰越金)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	摘 要
1 過年度繰入収入	1,943,018	1,943,018	0	「60周年」記念事業を原資とする
2 負担金収入	400,000	400,000	0	川崎市からのレスキュー支援者交通費等(概算払)
3 積立金繰入収入	100,000	100,000	0	令和6年度積立金 100,000
4 雑収入	20	1,047	1,027	預金利息 1,047
合 計	2,443,038	2,444,065	1,027	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	支出済額 (B)	増減額 (B-A)	摘 要
1 旅 費	360,000	49,094	310,906	レスキュー交通費等
2 通 信 費	40,000	4,565	35,435	レスキュー交通費等振込手数料
3 印刷消耗品	0	0	0	
4 負担金	0	346,341	△ 346,341	川崎市交通費等負担金の精算
5 予 備 費	2,043,038	0	2,043,038	6年度末積立予定額
合 計	2,443,038	400,000	2,043,038	

## 令和6年度神奈川県博物館協会役員名簿

会 長	神奈川県立歴史博物館長 望 月 一 樹	理 事	鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム館長 吉 田 茂 穂
副会長	横浜開港資料館長 西 川 武 臣	"	神奈川県立生命の星・地球博物館長 田 中 徳 久
"	新江ノ島水族館長 崎 山 直 夫	"	箱根町立郷土資料館長 鈴 木 康 弘
"	平塚市博物館長 浜 野 達 也	"	相模原市立博物館長 並 木 さとみ
理 事	神奈川県立金沢文庫長 向 坂 卓 也	"	大磯町郷土資料館長 北 水 慶 一
"	(公財)三溪園保勝会三溪園長 海 野 晋 哉	"	横浜市立野毛山動物園長 田 村 理 恵
"	シルク博物館長 高 橋 典 子	"	鎌倉国宝館長 山 本 勉
"	横浜美術館経営管理グループ長 山 本 ゆう子	監 事	厚木市産業文化スポーツ部次長 能 條 隆 広
"	川崎市市民ミュージアム館長 蛭 川 泰 行	"	かわさき宙と緑の科学館長 久 保 愼太郎
"	神奈川県立大船フラワーセンター園長 榎 本 浩	"	横須賀市自然・人文博物館 博物館・運営課長 北 山 剛

## 令和7年度神奈川県博物館協会役員名簿

会 長	神奈川県立歴史博物館長 望 月 一 樹	理 事	神奈川県立生命の星・地球博物館長 田 中 徳 久
副会長	横浜開港資料館長 西 川 武 臣	"	箱根町立郷土資料館長 落 合 雅 人
"	新江ノ島水族館長 崎 山 直 夫	"	相模原市立博物館長 並 木 さとみ
"	平塚市博物館長 浜 野 達 也	"	大磯町郷土資料館長 北 水 慶 一
理 事	神奈川県立金沢文庫長 向 坂 卓 也	"	横浜市立野毛山動物園長 田 村 理 恵
"	(公財)三溪園保勝会三溪園長 海 野 晋 哉	"	鎌倉国宝館長 山 本 勉
"	シルク博物館長 高 橋 典 子	監 事	厚木市産業文化スポーツ部文化魅力創造課長 井 出 愼
"	横浜美術館経営管理グループ長 田 村 賢 太	"	かわさき宙と緑の科学館長 久 保 愼太郎
"	川崎市市民ミュージアム館長 井 上 強	"	横須賀市自然・人文博物館 博物館・運営課長 北 山 剛
"	神奈川県立大船フラワーセンター園長 榎 本 浩		



## 令和7年度神奈川県博物館協会部会幹事・事務局名簿

人文科学部会長	横浜市歴史博物館 吉井大門	「神奈川県博物館協会総合防災計画推進委員会」 委員長(専任) 神奈川県立歴史博物館
人文科学部会幹事	小田原市郷土文化館 土屋健作	委員 武田周一郎
”	日本新聞博物館 阿部圭介	委員 神奈川県立生命の星・地球博物館 西澤文勝
”	横浜ユーラシア文化館 竹田多麻子	「協会WEBリニューアル推進委員会」 ○WEB学芸員の仕事編集委員会
”	馬の博物館 金澤真嗣	委員長 小田原市郷土文化館 土屋健作
”	平塚市博物館 新宮崇弘	委員 かわさき宙と緑の科学館 高中健一郎
自然科学部会長	かわさき宙と緑の科学館 高中健一郎	” 横浜ユーラシア文化館 竹田多麻子
(総括部会長)	高中健一郎	” 相模原市立博物館 山本菜摘
自然科学部会幹事	よこはま動物園ズーラシア 渡邊恵	” 馬の博物館 金澤真嗣
”	新江ノ島水族館 笠松舞	○WEBミュージアムガイド編集委員会 委員長 新江ノ島水族館 笠松舞
”	神奈川県立生命の星・地球博物館 折原貴道	委員 横浜市歴史博物館 吉井大門
”	横須賀市自然・人文博物館 山本薫	” 鎌倉国宝館 有山佳孝
機能研究部会長	相模原市立博物館 山本菜摘	” 横須賀市自然・人文博物館 山本薫
機能研究部会幹事	鎌倉国宝館 有山佳孝	○WEBサイトマップ委員会 事務局+上記2WEB委員会委員(兼務)
”	神奈川県立生命の星・地球博物館 西澤文勝	「広報委員会」 委員長 神奈川県立歴史博物館 武田周一郎
”	神奈川県立歴史博物館 武田周一郎	委員 かわさき宙と緑の科学館 高中健一郎
”	川崎市市民ミュージアム 山崎千加子	
「神奈川県博物館協会会報」第97号編集委員会(令和7年度)		
委員長	神奈川県立生命の星・地球博物館 折原貴道	事務局 事務局長 神奈川県立歴史博物館 副館長 江尻睦
委員	よこはま動物園ズーラシア 渡邊恵	事務局次長 神奈川県立歴史博物館 学芸部長 丹治雄一
”	日本新聞博物館 阿部圭介	事務局員(会計) 神奈川県立歴史博物館 主任専門員 竹内廣一
”	川崎市市民ミュージアム 山崎千加子	事務局員(事務) 神奈川県立歴史博物館 杉山誠
”	平塚市博物館 新宮崇弘	

## 神奈川県博物館協会会則

議決 昭和30年11月20日 最終改正 平成15年 4月25日

### 名称

第1条 本会は、神奈川県博物館協会と称する。

### (事務所)

第2条 本会は、事務所を横浜市中区南仲通5の60番地、神奈川県立歴史博物館内に置く。

### (目的)

第3条 本会は、博物館相互の連携をはかり、博物館活動の振興に努め、もって、学術文化の進展に寄与することを目的とする。

### (事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館相互の連絡と提携
- (2) 博物館事業に関する調査研究
- (3) 研究会、研修会等の開催
- (4) 機関紙の発行、研究成果の発表
- (5) 資料の交換・貸借のあっせん及び共同事業の企画・促進
- (6) その他目的達成に必要な事業

### (会員)

第5条 本会の会員は、神奈川県内にある博物館及びこれに準ずる施設とする。ただし、個人であっても本会の運営に貢献度の高い者は、役員会の議を経て特別会員とすることができる。

### (会費)

第6条 会員は、総会において別に定めるところにより、会費を負担しなければならない。

### (入会)

第7条 本会に入会しようとするときは、入会申込書を会長に提出しなければならない。

2 会長は、関係書類を審査の上これを専決し、直近の役員会に報告するものとする。

### (退会)

第8条 会員は、退会しようとするときは、その旨を会長に届け出なければならない。

### (会員資格の消滅)

第9条 会員が2年継続して会費を負担しなかったときは、会員資格が消滅するものとする。

### (役員)

第10条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 理事 25名以内(会長、副会長を含む。)
- (4) 監事 3名

### (役員を選任)

第11条 理事及び監事は、総会において選任する。  
2 会長及び副会長は、理事の互選とする。

### (役員職務)

第12条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。  
2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。  
3 副会長の事務分掌については、会長が別に定める。  
4 理事は、会務の執行にあたる。  
5 監事は、会務及び会計を監査する。

### (役員任期)

第13条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。  
2 欠員補充による役員任期は、前任者の残任期間とする。

### (総会の開催)

第14条 総会は、会長が招集し、年1回以上開催するものとし、そのうち1回は、年度の初めとする。

### (総会の定足数)

第15条 総会は、会員の過半数以上の出席をもって成立する。ただし、委任状の提出があれば出席とみなす。

### (総会の議事)

第16条 総会は、会長が議長となり、この規約に別に定めがあるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 事業計画に関する事。
- (2) 予算及び決算の承認に関する事。
- (3) 会則の改廃に関する事。
- (4) 会費の額の決定に関する事。
- (5) その他会長が必要と認めた事項

2 議事は、出席した会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (役員会の開催)

第17条 役員会は、会長が必要と認めたときに開催する。

(役員会の定足数)

第18条 役員会は、理事の過半数以上の出席をもって成立する。ただし、委任状の提出があれば出席とみなす。

(役員会の議事)

第19条 役員会は、会長が議長となり、この規約に別に定めるもののほか、次の事項について議決する。

- (1) 総会の議決した事項の執行に関すること。
  - (2) 総会に付議すべき事項
  - (3) その他総会の議決を要しない本会の業務の執行に関する事項
- 2 議事は、出席した理事の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部 会)

第20条 本会の業務を円滑に推進するため、会員により構成する次の部会を置く。

- (1) 自然科学部会
  - (2) 人文科学部会
  - (3) 機能研究部会
- 2 各部会には、会員の互選により、部会長1名及び幹事若干名を置く。
- 3 部会長及び幹事は、部会を運営する。
- 4 部会長は、役員会に出席し、部会の運営状況について報告するとともに、意見を述べることができる。
- 5 部会長及び幹事の任期は、役員会の任期に準ずる。
- 6 部会に必要な事項は、会長が役員会の議を経て別に定める。

(名誉会長・顧問・参与)

- 第21条 本会に名誉会長、顧問及び参与を置くことができる。
- 2 名誉会長は、総会において推挙し、顧問及び参与は、役員会の推薦により会長が委嘱する。
  - 3 名誉会長は、本会の運営について助言し、顧問及び参与は、会長の諮問に応じ、役員会に出席して意見を述べることができる。

(経 費)

第22条 本会の経費は、会費、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第23条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事務局)

- 第24条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局には、事務局長1名、事務局次長1名及び事務局員若干名を置く。
  - 3 事務局長、事務局次長及び事務局員は、会長が任免する。

(委 任)

第25条 本会の運営に関し、この会則に定めのない事項については、役員会の議を経て、会長が別に定める

付 則

本会則は、平成15年4月25日から施行する。

## 神奈川県博物館協会総合防災計画

平成28年4月28日策定・施行

### 1 趣 旨

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、多くの人命を奪い、さらには多くの文化財の毀損をももたらした。この教訓を踏まえ、現在 90 を越える加盟館園数となっている当協会では、今後も発生が想定される広域災害における文化財救済に一定の役割を果たす体制を構築することとし、平時から相互に協力しあいながら有事に備えるため、総合防災計画を策定する。

### 2 活動の内容

当協会としての活動は、平時の際には、役員会と適宜協議の上、部会幹事及び協会事務局が中心となり有事の備えとして必要な活動を行い、有事の際には、総合対策本部・現地対策本部を立ち上げ、部会幹事及び事務局が中心となり、加盟館園職員の協力を得て、救済計画を実施するものとする。

当協会としての活動は、①平時、②発生直後（一次救済）、③復興期（二次救済）の3段階において実施することとし、各段階の実施する活動は、次のとおりとする。なお、本活動の具体的運用のために、別途、要綱を定めることとする。

#### ①平時

- ・連絡網の整備〔ブロック化及び幹事館園の選定事務、連絡調整方法の検討等〕
- ・各館園の収蔵品の把握及びその目録・データベースのバックアップ支援
- ・災害復興用の資金及び備蓄の管理〔物資、人材等の把握

含む。〕

- ・防災訓練、関連実技研修会、県民向け普及啓発事業等の実施
  - ・本計画内容の修正〔県及び県内市町村との調整、他機関等のヒアリング含む。〕
- ②発生時（一次救済）
- ・連絡網の運用と被害の把握
  - ・総合対策本部並びに現地対策本部の設置
  - ・支援計画の策定と運用〔人員、物資、資金等の供出等〕
- ③復興期（二次救済）
- ・支援計画の継続運用
  - ・関係機関等との連絡調整の補助

### 3 活動の経費

本活動に要する経費は、神奈川県博物館協会60周年記念事業にかかる積立金残金を原資とし、以後、毎年度予算の範囲内で一定の金額を積み増して確保することとする。

### 4 計画の運用

本計画及び2により定める要綱の運用状況については、毎年1回総会に報告する。本計画の改廃については、役員会の協議を経て、総会が決定する。

また、2により定める要綱については、役員会が協議の上制定する。

なお、制定後役員会が要綱の改正を行った場合には、改正後速やかに会員に周知する。

## 神奈川県博物館協会災害時相互救済活動要綱

### 1 目的

本要綱は、神奈川県博物館協会総合防災計画（平成28年4月28日策定・施行）2に基づき、広域災害が発生した際に、博物館資料の次世代への継承や博物館活動の速やかな復旧に資するよう、各加盟館園が相互に救済しあい、被災資料の救済と保存安定化、被災博物館施設等の復旧等を行うことを目的とする。

### 2 対象

本要綱に基づく活動の対象は、神奈川県博物館協会に加盟する館園の所蔵資料及びその施設等とする。

### 3 体制

本活動は、すべての加盟館園が行うものとする。また、活動の効率化を図るべく、県域を複数のブロックに分割し、そのブロック単位で情報の収集や発信等を行うものとする。

#### (1) ブロックの分割方法

ブロックは、地理的な特性や館園の数などを考慮し定めるものとする。具体には、本要綱5（1）②に定めるアンケートの集計結果をもとに、役員会において協議の上、定めるものとする。

#### (2) 幹事館園の設置

当該ブロックの情報収集と発信を担うため、ブロックごとに幹事館園を定める。なお、幹事館園に不測の事態が生じた場合を想定し、幹事館園の補佐を行う館園として幹事補佐館園も定める。具体には、本要綱5（1）②に定めるアンケートの集計結果をもとに、役員会の協議により候補館園を挙げ、候補館園の同意を得て定める。

#### (3) 代表幹事館園の設置

幹事館園のとりまとめを行う代表幹事館園を定める。代表幹事館園は、当協会事務局が設置されている神奈川県立歴史博物館とする。神奈川県立歴史博物館が被災または不測の事態が生じた場合には、幹事館園の互選により、その代理を務めるものとする。

### 4 救済活動

具体的な救済活動は、次のとおりとする。

#### (1) 災害の発生時

加盟館園は、次の各号に該当する災害等が発生した場合、被災状況を事務局及び当該ブロックの幹事館園に提供するものとする。また、被災状況の報告はないが被災が推定される館園が存在する場合には、当該ブロック内の幹事館園は、情報をとりまとめ、事務局に提供するものとする。

- ①震度5以上の地震が発生した場合
- ②集中豪雨等による水害が発生した場合
- ③その他、甚大な被害を伴う災害等が発生した場合

#### (2) 救済活動実施の決定

事務局は、収集した情報を速やかに会長へ報告する。会長は、その報告に基づき、救済活動実施の是非を決定するものとする。なお、会長に事故あるときは、副会長または役員が決定するものとする。

#### (3) 一次救済（資料の救済計画の立案等）

会長は、救済活動の実施を決定した場合には、直ちに総合対策本部を設置するとともに、必要に応じて幹事館園等の協力を得て現地対策本部を設置する。総合対策本部又は現地対策本部は、一次救済として、被災館園の情

報収集、それに基づく救済計画の策定、現場作業の実施等を行うものとする。なお、被災し劣化が激しい資料、あるいは今後現状では確実に被災の恐れのある資料については、現場の判断により、緊急避難させるものとする。

#### ①総合対策本部の設置

会長は、代表幹事館園に総合対策本部を設置し、次の業務を行う。事務局は総合対策本部の事務局として、その経理事務等を行うものとする。

- i 救済活動開始の連絡
- ii 救済計画の策定
- iii 要員及び機材などの手配
- iv 現地対策本部への指示と支援
- v 自治体、外部団体等との連絡調整

#### ②現地対策本部の設置

会長は、被災ブロックの幹事館園に依頼し、現地対策本部を設置する。なお、当該館園に事故あるときは、幹事補佐館園がその任を務めるものとする。また、当該ブロック全域が被災し、その幹事館園または幹事補佐館園が務めを果たせない場合には、近隣ブロックの幹事館園に現地対策本部を設置するものとする。

- i 救済要員等に対する救済計画の説明
- ii 要員、機材などの受入
- iii 現場作業の指示
- iv 総合対策本部他との連絡調整

#### (4) 二次救済（資料の修復保管等）

本活動における二次救済では、被災した資料、または被災する恐れのある資料の保管や修復を行うものとする。

#### ①総合対策本部の業務

- i 救済計画の策定
- ii 要員及び機材などの手配
- iii 現地対策本部への指示と支援
- iv 自治体、外部団体等との連絡調整

#### ②現地対策本部の業務

- i 救済要員等に対する救済計画の説明
- ii 要員、機材などの受入
- iii 現場作業の指示
- iv 総合対策本部他との連絡調整

#### (5) 救済完了

総合対策本部及び現地対策本部を解散する場合には、以下の条件を満たすこととする。また、両本部の解散をもって、本要綱に基づく救済は完了とする。

- ①総合対策本部が現地対策本部から作業等の完了の報告を受け、了承すること
- ②事業完了について、関係する外部組織・団体等に報告、周知すること

### 5 平時の活動

(1) 平時においては、次の活動を着実に実行することとする。

- ①連絡網の作成とその年次更新
- ②加盟館園基礎データ収集のための必要に応じたアンケートの実施
- ③防災訓練
- ④災害対策に資する研修会
- ⑤その他本活動に資する事業

(2) 本活動の企画並びに実施は、部会が行うこととする。

6 経費

本活動に要する経費は、神奈川県博物館協会総合防災計画（平成28年4月28日策定・施行）3に定める財源により賄うものとする。

7 庶務

本救済活動に関する庶務は、事務局において処理するものとする。

8 その他

本要綱に定めのない事項については、会長が別に定めるところによるものとする。

付 則

本要綱は、平成28年4月28日から施行する。

本要綱は、令和5年3月3日から施行する。

神奈川県博物館協会総合防災計画に基づく積立金の取扱いに関する要綱

1 目的

本要綱は、神奈川県博物館協会総合防災計画（平成28年4月28日策定・施行。以下「総合防災計画」という。）3に基づく積立金の取扱いに関して必要な事項を定める。

2 会計

積立金額及びその執行状況を常に明らかにするため、積立金の会計は、通常の会計とは別に設ける。

3 原資及び積立額

積立金の原資は、神奈川県博物館協会60周年記念事業にかかる積立金残金とし、以後、毎年度おおむね10万円程度を目途に積み増すこととする。

4 積立金の執行基準

積立金は、総合防災計画に基づき協会が行う相互救済活動に要する経費に使用することとし、具体的には次表のとおりとする。

なお、平時に執行する経費は、年度ごとの積増し額のおおむね1/2程度とする。

5 被災館園への資機材等提供方法

被災館園の資機材等の提供方法については、購入等経費の負担のほか現物支給も可能とし、また併用も可能とする。なお、提供後は、被災館園の協力を得て受取証や領収証等支払関係書類を整理するものとする。

6 庶務

本要綱に基づく庶務については、事務局において処理するものとする。

7 その他

本要綱に定めのない事項については、会長が別に定めるところによるものとする。

付 則

本要綱は、平成29年4月21日から施行する。

	区 分	内 容	例 示
1	平 時	①防災用備蓄品の購入経費	防災用品・資料保存用消耗品の購入等
		②防災研修会・シンポジウム開催経費	資料作成代、会場借上費、講師謝金、消耗品費等
2	災害発生時	①被災館園から要望された資機材の購入経費等	消耗品費、備品購入費、賃借料、見舞金等
		②被災館園のレスキュー実施に要する経費	交通費、消耗品費等
3	その他	1及び2以外の経費で会長が必要と認める経費	日本博物館協会等が行うレスキュー活動への参加経費等

## 神奈川県博物館協会加盟館園名簿（五十音順）

（令和6年12月1日現在）

（事務局）〒231 0006 横浜市中区南仲通5-60 神奈川県立歴史博物館内  
TEL 045-201-0926 FAX 045-201-7364

愛川町郷土資料館	電車とバスの博物館
あつぎ郷土博物館	松前記念館（東海大学歴史と未来の博物館）
神奈川工科大学厚木市子ども科学館	ニュースパーク（日本新聞博物館）
岩崎博物館（ゲート座記念）	日本大学生物資源科学部博物館
馬の博物館	日本郵船歴史博物館
江島神社奉安殿	箱根・芦ノ湖 成川美術館
海老名市温故館	箱根ジオミュージアム
大磯町郷土資料館	箱根写真美術館
大佛次郎記念館	箱根神社宝物殿
小田原市郷土文化館	箱根町立郷土資料館
小田原市尊徳記念館	箱根町立箱根湿生花園
小田原城	箱根町立森のふれあい館
小田原文化財団 江之浦測候所	箱根美術館
神奈川県立神奈川近代文学館	はだの歴史博物館
神奈川県立金沢文庫	葉山しおさい博物館
神奈川県立近代美術館	光と緑の美術館
神奈川県立公文書館	平塚市博物館
神奈川県立生命の星・地球博物館	藤沢市生涯学習部郷土歴史課
神奈川県立地球市民かながわプラザ	藤沢市湘南台文化センター子ども館
神奈川県立大船フラワーセンター	TOY MUSEUM
神奈川県立歴史博物館	報徳博物館
鎌倉宮宝物殿	真鶴町立中川一政美術館（真鶴町教育委員会）
鎌倉国宝館	真鶴町立遠藤貝類博物館（真鶴町教育委員会）
鎌倉歴史文化交流館	明治大学平和教育登戸研究所資料館
川崎砂子の里資料館	山口蓬春記念館
川崎市岡本太郎美術館	山手資料館
川崎市市民ミュージアム	大和市つる舞の里歴史資料館
かわさき宙と緑の科学館	町立湯河原美術館
川崎市立日本民家園	遊行寺宝物館
川崎市平和館	横須賀市自然・人文博物館
観音崎自然博物館	横浜開港資料館
観音ミュージアム	横浜市立金沢動物園
記念艦三笠	横浜市技能文化会館匠プラザ
熊野郷土博物館	横浜市こども植物園
相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら	横浜市瀬谷区民文化センター あじさいプラザ
相模原市立博物館	横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール
寒川神社方徳資料館	横浜市立野毛山動物園
三溪園	横浜市立間門小学校附属海水水族館
三之宮郷土博物館	横浜市歴史博物館
JICA横浜海外移住資料館	横浜高島屋ギャラリー
女子美アートミュージアム	よこはま動物園ズーラシア
シルク博物館	横浜都市発展記念館
松蔭大学資料館	横浜人形の家
新江ノ島水族館	横浜・八景島シーパラダイス・アクアリゾート
豆子市池子遺跡群資料館	横浜本牧絵画館
創価学会戸田平和記念館	横浜美術館
そごう美術館	横浜みなと博物館
茅ヶ崎市博物館	横浜ユーラシア文化館
茅ヶ崎市美術館	ロマンスカーミュージアム
彫刻の森美術館	若宮八幡宮郷土資料室
鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム	

\*各館園の詳細は各WEBページをご覧ください。